

表1-2-2 達成と希望でみる生活の状態(続き)

(%)

		【年 齢】							【地 域】					
		15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
食べるのに困らない暮らし	達成	79.6	85.1	85.6	80.2	77.2	81.7	80.7	75.8	82.1	85.1	79.5	85.8	73.6
	希望	9.0	7.8	9.3	11.5	14.1	9.0	10.5	15.2	9.6	9.6	10.1	7.5	17.0
安定した仕事ができる暮らし	達成	24.1	40.2	53.7	52.7	48.3	31.4	23.2	32.6	43.3	40.9	46.9	50.8	46.2
	希望	33.1	47.4	39.3	41.7	42.2	41.3	24.3	47.0	40.0	41.8	38.8	30.0	37.7
ある程度お金が貯められるよう暮らし	達成	24.5	20.0	25.0	22.4	22.8	21.1	26.5	18.2	24.1	22.4	22.9	21.7	23.6
	希望	49.4	70.6	68.6	69.8	68.4	67.7	58.0	69.7	65.3	68.4	67.1	60.8	68.9
老後に安心して暮らせるだけの貯えのある暮らし	達成	13.1	10.8	6.4	9.4	11.8	18.5	20.4	12.1	12.1	10.4	11.6	16.7	12.3
	希望	46.5	74.9	83.4	80.9	76.6	72.4	64.6	71.2	74.7	77.0	75.6	63.3	72.6
老後にも自分にあった仕事が続けられる暮らし	達成	8.2	7.4	9.3	11.3	14.3	16.4	13.3	10.6	12.2	8.4	11.2	20.0	16.0
	希望	34.3	54.0	57.8	58.0	57.0	51.5	31.5	53.0	52.7	54.3	52.7	46.7	44.3
子供に十分な高等教育を受けさせられる暮らし	達成	23.3	13.6	18.1	33.2	36.3	28.3	27.1	23.5	29.3	22.7	24.0	34.2	18.9
	希望	20.8	36.1	43.3	37.1	32.0	29.7	23.2	30.3	35.4	31.0	37.2	29.2	32.1
習いごとなどを十分に受けることができる暮らし	達成	28.6	16.1	23.3	29.3	26.3	24.0	24.9	18.9	28.6	22.4	21.7	25.0	19.8
	希望	20.8	38.9	48.8	45.9	42.4	35.6	33.1	40.9	41.7	36.4	43.4	38.3	35.8
家に乗用車がある暮らし	達成	70.2	79.8	87.0	84.5	82.9	80.5	66.3	74.2	83.3	76.1	86.0	80.8	78.3
	希望	9.0	9.9	7.8	9.5	9.0	9.7	13.3	12.1	7.4	14.0	7.4	7.5	7.5
家にクーラーのある暮らし	達成	76.3	79.8	82.0	77.6	79.4	78.4	67.4	68.2	77.2	83.0	82.9	70.8	75.5
	希望	10.6	5.7	7.4	11.8	13.6	11.2	17.1	17.4	9.4	10.1	9.3	15.8	8.5
高級品、美術品などのある暮らし	達成	5.3	1.8	2.3	3.5	4.5	3.8	2.8	3.0	3.8	3.9	1.2	5.8	3.8
	希望	13.9	18.4	22.5	30.7	27.3	28.7	24.9	25.8	24.3	26.3	24.4	25.0	17.0
持家に住める暮らし	達成	39.6	29.4	32.1	54.4	62.1	77.0	71.3	46.2	52.6	47.2	55.8	55.0	41.5
	希望	22.4	42.1	50.5	32.5	24.0	13.5	15.5	31.8	30.6	34.9	27.1	24.2	36.8
家族一人一人に部屋はある暮らし	達成	41.6	31.3	24.6	44.2	51.1	54.2	60.2	46.2	42.1	38.8	45.3	44.2	34.0
	希望	35.5	38.4	45.2	35.9	32.2	25.2	12.7	28.8	33.7	40.9	31.0	28.3	34.9
敷地が広くて環境がよい住宅地に住める暮らし	達成	34.3	23.4	26.8	32.3	33.0	38.2	45.9	39.4	34.2	19.1	36.0	42.5	37.7
	希望	34.3	46.4	51.0	45.1	46.4	42.3	31.5	34.1	43.3	56.4	39.9	33.3	41.5
通勤や買物などに便利なところに住める暮らし	達成	49.4	58.9	60.9	69.6	63.5	62.2	64.6	65.9	62.1	67.5	50.4	77.5	60.4
	希望	26.9	24.6	24.2	21.0	22.4	16.9	16.0	20.5	23.3	17.0	30.2	10.8	14.2
犯罪等に巻き込まれる心配がない安心な暮らし	達成	45.7	46.0	41.6	51.2	53.0	53.4	49.7	53.8	47.3	44.5	51.6	59.2	54.7
	希望	27.3	30.3	37.1	29.7	29.9	28.0	23.2	28.8	31.1	31.3	30.6	27.5	20.8
連続した休みがとれる暮らし	達成	29.4	27.8	31.8	35.2	29.3	26.8	20.4	32.6	28.3	30.7	30.2	33.3	27.4
	希望	29.4	50.8	50.1	50.9	49.9	27.8	13.8	41.7	44.6	39.7	44.6	38.3	47.2
家族旅行ができる暮らし	達成	15.9	11.7	16.1	23.3	17.5	17.6	17.7	12.1	18.3	17.0	15.5	23.3	24.5
	希望	44.9	67.8	65.8	61.5	62.9	50.1	34.3	53.8	58.5	58.8	64.0	54.2	51.9
海外旅行ができる暮らし	達成	8.2	5.5	6.4	7.4	7.5	10.7	5.0	4.5	7.9	9.3	5.0	8.3	5.7
	希望	50.2	64.4	63.7	64.7	58.0	50.1	37.0	52.3	58.2	59.7	60.5	57.5	52.8
少しお金のかかるスポーツができる暮らし	達成	11.4	9.7	10.6	9.7	11.4	12.1	7.2	7.6	11.2	10.1	10.5	13.3	8.5
	希望	23.7	40.7	39.5	47.7	37.9	34.9	27.6	34.8	39.8	37.9	38.8	37.5	29.2

第2章 重要度、充足度とニーズ得点



第2章 重要度、充足度とニーズ得点

本章においては、県民生活の種々の側面に関する63項目の調査結果をもとに、県民生活の10領域に関する評価を行ったものである。調査のねらいは、県民生活の各分野におけるそれぞれの項目について重要と考える程度、及び満たされていると考える程度によって県民生活の重要度と充足度を把握し、さらに、この重要度と充足度が関連しあっていることに着目してニーズを測定するものである。

なお、今回調査では下記のとおり設問の追加または統合を行っているので、前回調査結果と単純に比較できない場合があることを注意する必要がある。

問1及び問2設問の主な変更一覧

問No	設問内容	変更説明
問8	小・中学校及び高校で子供が能力を伸ばせる教育が受けられること	前回調査の問8と9を統合
問9	国際化に対応し、外国語教育が充実していること	新規追加
問15	びん型、やき物、琉舞、三味線などの伝統工芸や文化が盛んになること	前回調査の問15と16を統合
問19	仕事と子育てが両立しやすい労働条件・職場環境が整っていること	前回調査の問21と22を統合
問34	自分の住む町の景観、町並みが美しいこと	新規追加
問37	夫婦が協力して家事や育児にとりくむこと	新規追加
問38	女性をもっと積極的に経済界や政治活動などに参加し、能力を発揮していくこと	新規追加
問39	家庭内における暴力の防止や被害者の救済を十分に行うこと	新規追加
問50	安全で安心な食品の確保ができること	新規追加
問56	安心して子供を生み育てられる環境が整っていること	前回調査の問55を内容拡大
問63	住んでいる地域・社会をよくする活動ができる時間や機会があること	前回調査の問61.63.64を統合

(注) 関連する前回調査設問内容

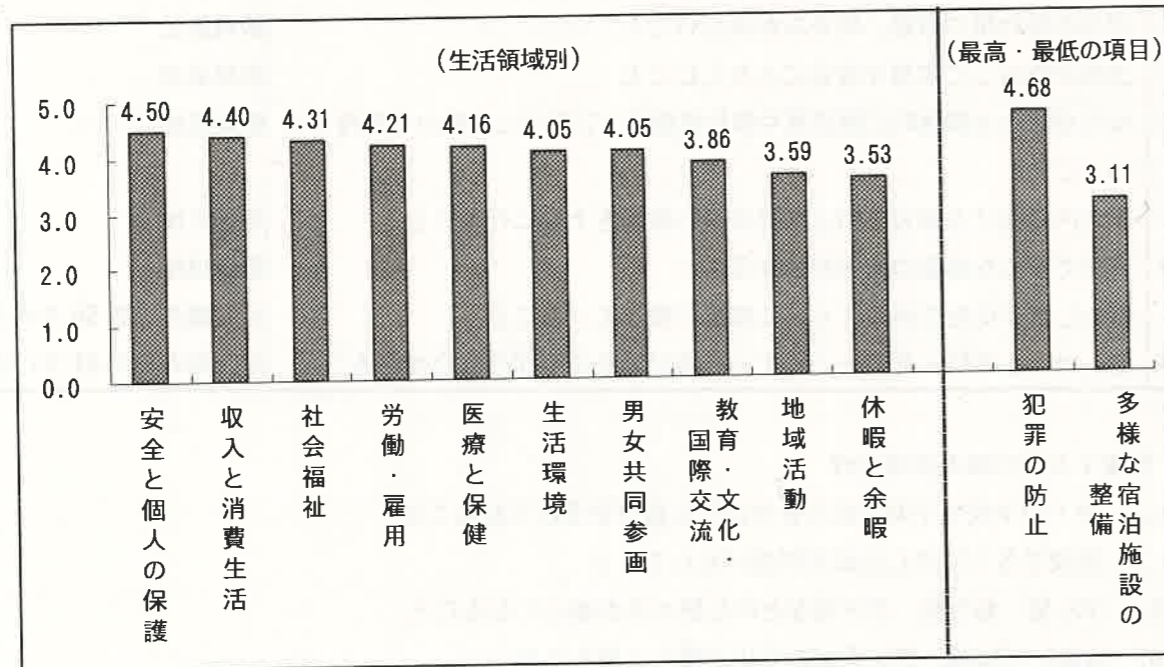
- 問8. 小・中学校で子供の能力を伸ばせる教育が受けられること
- 問9. 高校で各人に適した教育が受けられること
- 問15. びん型、おり物、やき物などの伝統工芸が盛んになること
- 問16. 琉舞、三味線、芝居などの文化が盛んになること
- 問21. 能力や仕事と同じなら、男女間の昇進・収入は平等であること
- 問22. 女性が外で働くこと
- 問55. 家事や育児、子供の教育について気軽に相談できる場所があること
- 問61. 自治会や青年会、婦人会、老人会などが充実すること
- 問63. 困っている人のために積極的に何かしてあげること
- 問64. 自分が住んでいる地域の中でお互いに助け合えること

1 生活の各側面に対する重要度（問1）

生活の各側面に対する重要度の調査は、生活に関わる個別具体的な63項目について、県民の暮らしの中で、どの程度重要と考えているかを「非常に重要である」「かなり重要である」「どちらともいえない」「それほど重要でない」「全く重要でない」「わからない」の6分類で回答してもらった。集計にあたっては5段階評価方式により、「非常に重要である」=5点、「かなり重要である」=4点、「どちらともいえない」=3点、「それほど重要でない」=2点、「全く重要でない」=1点、の得点（ウェイト）を与えて、各項目ごとの平均点を求め、重要度に関する県民の評価の指標（重要度得点）とした。さらに、これらの項目を10の領域に分類し、各領域別の平均得点もあわせて算出した。

領域別にみた重要度の得点は、図2-1-1に示すように、得点の最も高い領域は「安全と個人の保護」、最も低い領域は「休暇と余暇」である。また、具体的な項目の中で得点の最も高い項目は「安全と個人の保護」領域の「(43) 犯罪の防止」(4.68)で、最も低い項目は「休暇と余暇」領域の「(55) 多様な宿泊施設の整備」(3.11)である。

図2-1-1 重要度得点



具体的に項目別の得点を見ると、図2-1-2、表2-1-1に示すように、得点の最も高い項目は「(43)犯罪の防止」(4.68)で、以下、「(46)老後に不安のない年金」(4.63)、「(12)少年の非行や犯罪の防止」(4.57)、「(35)環境汚染の防止」(4.52)、「(30)水使用の安心」(4.51)と続いている。

一方、得点の最も低い項目は「(55)多様な宿泊施設の整備」(3.11)で、以下、「(54)趣味の会への参加の機会」(3.29)、「(60)地域行事への参加」(3.30)、「(61)集会場や公民館の利用機会」(3.34)、「(24)各家族員の個室の確保」(3.42)と続いている。

図2-1-2 重要度の平均得点



図2-1-2 重要度の平均得点(続き)

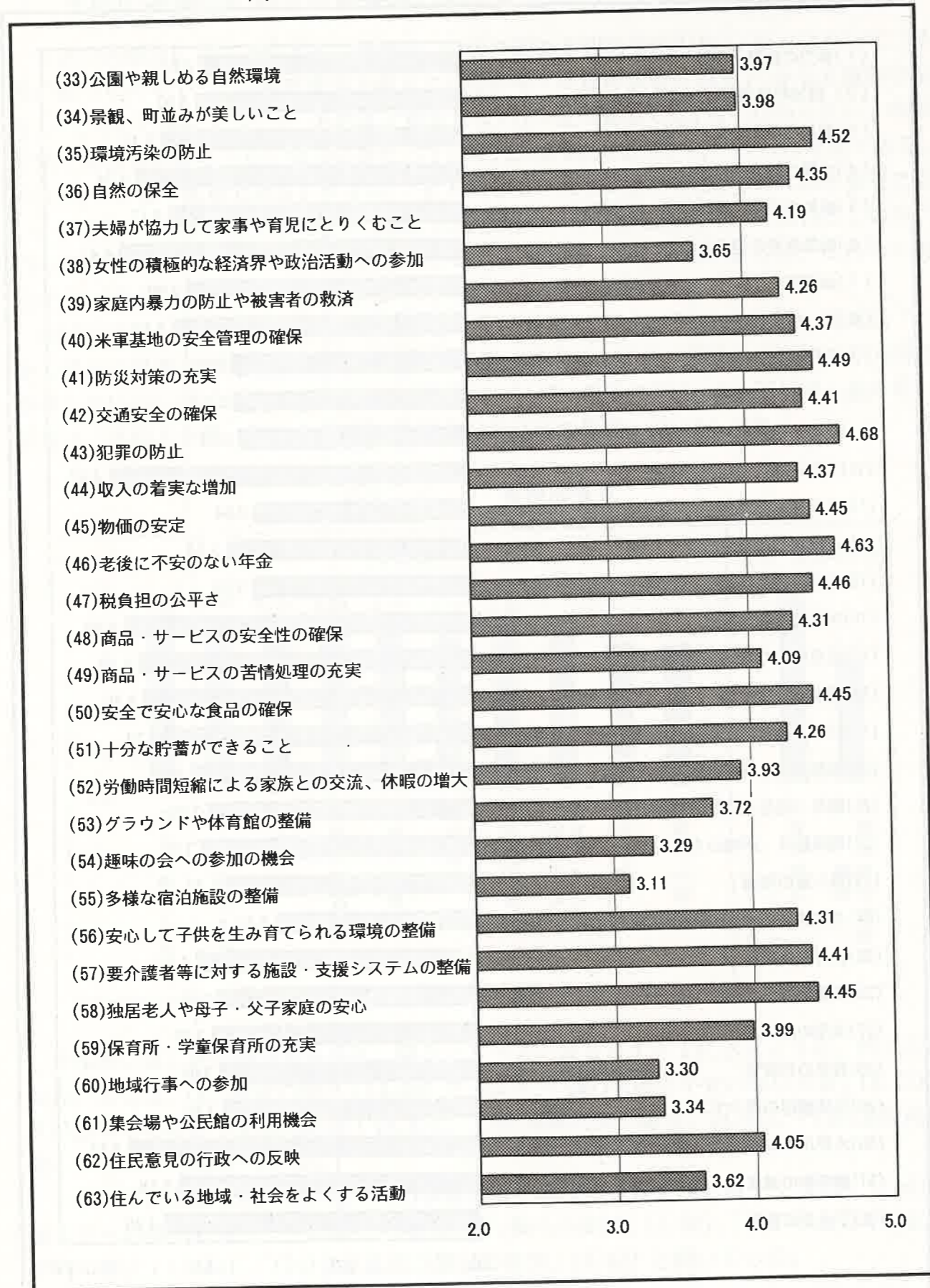


表2-1-1 重要度の平均得点

領域	項目	平均得点 (M)	標準偏差 (σ)	変動係数 (σ/M)	領域別平均得点
医療と保健	(1) 体力の維持・増強	3.87	0.94	24.2	4.16
	(2) 精神的緊張が少ないこと	3.90	0.95	24.4	
	(3) 費用の心配のない医療	4.16	0.93	22.4	
	(4) 良質な診療・治療	4.34	0.84	19.4	
	(5) 病気の予防・健康診断・健康相談	4.11	0.87	21.2	
	(6) 救急患者の適切な治療	4.47	0.73	16.3	
教育・文化・国際協力	(7) 幼稚園・小・中・高校の施設の充実	3.99	0.98	24.6	3.86
	(8) 小・中学校及び高校での能力を伸ばす教育	4.10	0.96	23.3	
	(9) 外国語教育の充実	3.68	0.98	26.6	
	(10) 大学教育の開放	3.67	1.01	27.5	
	(11) 各種・専修学校の充実	3.64	1.02	28.1	
	(12) 少年の非行や犯罪の防止	4.57	0.67	14.7	
	(13) 文化施設の整備	3.54	1.03	29.2	
	(14) 生涯学習の機会	3.74	0.94	25.0	
	(15) 伝統工芸の振興	3.56	0.97	27.4	
労働・雇用	(16) 失業の不安の解消	4.48	0.80	17.9	4.21
	(17) 仕事のやりがい	4.38	0.79	18.1	
	(18) 職場内の安全性	4.35	0.77	17.8	
	(19) 仕事と子育てが両立しやすい労働条件・職場環境	4.21	0.90	21.3	
	(20) 高齢者・心身障害者の就業機会	4.01	0.85	21.2	
	(21) 職業・居住地選択の自由	3.90	0.97	24.9	
	(22) 職業紹介・訓練の充実	3.95	0.91	23.1	
生活環境	(23) 持ち家の取得	3.78	1.11	29.4	4.05
	(24) 各家族員の個室の確保	3.42	1.11	32.3	
	(25) 良好な住環境	4.00	0.89	22.2	
	(26) 交通機関の利便性	3.85	0.99	25.8	
	(27) 渋滞の解消	3.89	0.95	24.5	
	(28) 買物の利便性	3.84	0.96	24.9	
	(29) 生活情報の得やすさ	3.82	0.88	23.0	
	(30) 水使用の安心	4.51	0.70	15.6	
	(31) 廃棄物の減量化・リサイクル	4.15	0.80	19.2	
	(32) 下水道の整備	4.25	0.80	18.9	
	(33) 公園や親しめる自然環境	3.97	0.90	22.6	
	(34) 景観、町並みが美しいこと	3.98	0.86	21.7	
	(35) 環境汚染の防止	4.52	0.68	15.1	
(36) 自然の保全	4.35	0.72	16.6		

表2-1-1 重要度の平均得点(続き)

領域	項目	平均得点 (M)	標準偏差 (σ)	変動係数 (σ/M)	領域別 平均得点
男女 共同	(37) 夫婦が協力して家事や育児にとりくむこと	4.19	0.88	21.1	4.05
	(38) 女性の積極的な経済界や政治活動への参加	3.65	0.93	25.4	
	(39) 家庭内暴力の防止や被害者の救済	4.26	0.86	20.1	
安全と 個人の 保護	(40) 米軍基地の安全管理の確保	4.37	0.85	19.4	4.50
	(41) 防災対策の充実	4.49	0.69	15.3	
	(42) 交通安全の確保	4.41	0.69	15.6	
	(43) 犯罪の防止	4.68	0.55	11.7	
収入と 消費生活	(44) 収入の着実な増加	4.37	0.77	17.5	4.40
	(45) 物価の安定	4.45	0.68	15.4	
	(46) 老後に不安のない年金	4.63	0.66	14.3	
	(47) 税負担の公平さ	4.46	0.75	16.7	
	(48) 商品・サービスの安全性の確保	4.31	0.74	17.1	
	(49) 商品・サービスの苦情処理の充実	4.09	0.82	20.2	
	(50) 安全で安心な食品の確保	4.45	0.69	15.4	
(51) 十分な貯蓄ができること	4.26	0.79	18.6		
休暇と 余暇	(52) 労働時間短縮による家族との交流、休暇の増大	3.93	0.97	24.6	3.53
	(53) グラウンドや体育館の整備	3.72	0.99	26.6	
	(54) 趣味の会への参加の機会	3.29	1.03	31.2	
	(55) 多様な宿泊施設の整備	3.11	1.09	34.9	
社会 福祉	(56) 安心して子供を産み育てられる環境の整備	4.31	0.83	19.2	4.31
	(57) 要介護者等に対する施設・支援システムの整備	4.41	0.74	16.7	
	(58) 独居老人や母子・父子家庭の安心	4.45	0.69	15.6	
	(59) 保育所・学童保育所の充実	3.99	0.98	24.5	
地域 活動	(60) 地域行事への参加	3.30	1.02	30.8	3.59
	(61) 集会場や公民館の利用機会	3.34	1.01	30.2	
	(62) 住民意見の行政への反映	4.05	0.83	20.5	
	(63) 住んでいる地域・社会をよくする活動	3.62	0.92	25.4	

(1) 重要度得点の高い項目と低い項目

重要度の高い項目と低い項目をそれぞれ15項目抜き出し、過去の結果と比較したのが表2-1-2と表2-1-3である。

表2-1-2で重要度の高い項目をみると、1位は「(43)犯罪の防止」、2位は「(46)老後に不安のない年金」で、以下、「(12)少年の非行や犯罪の防止」、「(35)環境汚染の防止」、「(30)水使用の安心」と続いている。1位と2位は前々回調査から引き続き重要度の高い項目となっている。

前回調査と比較して重要とする評価が上がった項目は、「(12)少年の非行や犯罪の防止」(前回21位→今回3位)、「(35)環境汚染の防止」(同11位→4位)、「(58)独居老人や母子・父子家庭の安心」(同18位→10位)、「(57)要介護者等に対する施設・支援システムの整備」(同20位→13位)などである。特に「(12)少年の非行や犯罪の防止」については著しく上昇しており、続いて、「(58)独居老人や母子・父子家庭の安心」、「(57)要介護者等に対する施設・支援システムの整備」についても15位以下からの上昇となっており、世相を反映した関心の高さがうかがえる。

なお、評価が低下した項目としては前回8位の「(32)下水道の整備」、10位の「(4)良質な診療・治療」が今回20位以下と大きく低下している。

表2-1-2 重要度の高い項目

領域	項目	平成7年		平成11年		平成16年	
		順位	得点	順位	得点	順位	得点
安全と個人の保護	(43) 犯罪の防止	1	4.47	1	4.61	1	4.68
収入と消費生活	(46) 老後に不安のない年金	2	4.44	2	4.51	2	4.63
教育・文化・国際協力	(12) 少年の非行や犯罪の防止	15	4.18	21	4.26	3	4.57
生活環境	(35) 環境汚染の防止	14	4.20	11	4.37	4	4.52
生活環境	(30) 水使用の安心	4	4.39	4	4.47	5	4.51
安全と個人の保護	(41) 防災対策の充実	6	4.36	3	4.49	6	4.49
労働・雇用	(16) 失業の不安の解消	11	4.26	6	4.46	7	4.48
医療と保健	(6) 救急患者の適切な治療	3	4.40	6	4.46	8	4.47
収入と消費生活	(47) 税負担の公平さ	10	4.30	11	4.37	9	4.46
収入と消費生活	(45) 物価の安定	5	4.37	11	4.37	10	4.45
収入と消費生活	(50) 安全で安心な食品の確保	*	*	*	*	10	4.45
社会福祉	(58) 独居老人や母子・父子家庭の安心	18	4.13	18	4.32	10	4.45
安全と個人の保護	(42) 交通安全の確保	9	4.31	9	4.44	13	4.41
社会福祉	(57) 要介護者等に対する施設・支援システムの整備	19	4.11	20	4.28	13	4.41
労働・雇用	(17) 仕事のやりがい	16	4.17	15	4.36	15	4.38
平成11年の上位15項目の中で、15位グループから後退した項目							
領域	項目			前回 順位		今回 順位	
生活環境	(32) 下水道の整備			8		25	
医療と保健	(4) 良質な診療・治療			10		20	
収入と消費生活	(44) 収入の着実な増加			11		16	
安全と個人の保護	法律適用の公正さ			4		項目削除	

一方、表2-1-3で重要度の低い項目を最下位から順を追ってみると、最下位は「(55) 多様な宿泊施設の整備」、次いで「(54) 趣味の会への参加の機会」、「(60) 地域行事への参加」、「(61) 集会場や公民館の利用機会」、「(24) 各家族員の個室の確保」となっている。最下位からの3項目は順位の入替わりがあるが、前回調査と同じである。

前回調査と比較して際立った変動は見られないが、重要とする評価が高まった項目は、「(60) 地域行事への参加」(前回1位→今回3位)、「(53) グラウンドや体育館の整備」(同10位→13位)で、わずかながら重要度の順位を上げている。逆に、重要とする評価が低下した項目は、「(24) 各家族員の個室の確保」(前回9位→今回5位)、「(13) 文化施設の整備」(同11位→6位)、「(23) 持ち家の取得」(同27位→15位)などである。「(23) 持ち家の取得」は前回調査でも平成7年調査の37位から27位と重要とする評価の低下が著しい。

なお、前回最下位から15位内にあった「自治会等の充実」、「伝統工芸の振興」、「文化の振興」、「女性の職場進出」は項目統合のため外れているが、これらをほぼ包括している新項目が最下位から15位内に含まれている。「(56) 安心して子供を産み育てられる環境の整備」は前回までの「家事や育児、子供の教育について気軽に相談できることがあること」を内容拡大したことによる重要度評価の変化とみられる。

表2-1-3 重要度の低い項目

領域	項目	平成7年		平成11年		平成16年	
		順位	得点	順位	得点	順位	得点
休暇と余暇	(55) 多様な宿泊施設の整備	2	3.07	2	3.18	1	3.11
休暇と余暇	(54) 趣味の会への参加の機会	4	3.21	3	3.34	2	3.29
地域活動	(60) 地域行事への参加	1	2.96	1	3.17	3	3.30
地域活動	(61) 集会場や公民館の利用機会	5	3.22	5	3.36	4	3.34
生活環境	(24) 各家族員の個室の確保	13	3.56	9	3.54	5	3.42
教育・文化・国際協力	(13) 文化施設の整備	14	3.60	11	3.69	6	3.54
教育・文化・国際協力	(15) 伝統工芸の振興	*	*	*	*	7	3.56
地域活動	(63) 住んでいる地域・社会をよくする活動	*	*	*	*	8	3.62
教育・文化・国際協力	(11) 各種・専修学校の充実	12	3.54	12	3.71	9	3.64
男女共同参画	(38) 女性の積極的な経済界や政治活動への参加	*	*	*	*	10	3.65
教育・文化・国際協力	(10) 大学教育の開放	15	3.62	14	3.79	11	3.67
教育・文化・国際協力	(9) 外国語教育の充実	*	*	*	*	12	3.68
休暇と余暇	(53) グラウンドや体育館の整備	8	3.52	10	3.64	13	3.72
教育・文化・国際協力	(14) 生涯学習の機会	18	3.65	15	3.80	14	3.74
生活環境	(23) 持ち家の取得	37	3.94	27	3.98	15	3.78
平成11年の下位15項目の中で、16位以上に上げた項目							
領域	項目			前回 順位		今回 順位	
地域活動	自治会等の充実			3		項目統合	
教育・文化・国際協力	伝統工芸の振興			6		項目統合	
教育・文化・国際協力	文化の振興			7		項目統合	
労働・雇用	女性の職場進出			8		項目統合	
社会福祉	(56) 安心して子供を産み育てられる環境の整備			13		42	

(2) 領域別の比較

重要度の認識は、領域によってかなりの差がみられる。その認識の度合いをみるために領域ごとの重要度の平均得点と上下15位に入った項目の数について、前回と今回の結果を比較表示したものが表2-1-4である。

各領域の平均得点をみると、「安全と個人の保護」、「収入と消費生活」、「社会福祉」などが上位に位置し、「休暇と余暇」、「地域活動」、「教育・文化・国際交流」などが下位に位置している。

領域別に上下15位に入った項目数をみると、最も得点の高い「安全と個人の保護」領域では、4項目中3項目が入っており、続く、「収入と消費生活」と「社会福祉」では項目の半数が入っている。一方、下位15位に入った項目数では最も得点の低いほうから「休暇と余暇」と「地域活動」領域でそれぞれ4項目中3項目、続く、「教育・文化・国際交流」でも9項目中6項目と過半数の項目が入っている。

平均点が最も高い「安全と個人の保護」領域と最も低い「休暇と余暇」領域では、得点に0.97ポイントの開きがあり、領域の平均得点の大小と上下15位に入った項目の間には相関がみられる。

今回、領域の平均得点の上位にある「安全と個人の保護」と「収入と消費生活」は、日常生活の基礎的な分野が多く、前回調査でも上位1位、2位を占めている。続く、「社会福祉」は前回の中位から上位に上がり、領域の平均得点も上昇しており、関心の高まりが感じられる。一方、重要度の低い項目は、個人の価値観や関心のあり方に違いがあると考えられる分野が多くなっている。



表2-1-4 領域別にみた重要度

今回順位	領域	前回順位	領域ごとの平均得点		上位15位に入った項目数		下位15位に入った項目数	
			平成11年	平成16年	平成11年	平成16年	平成11年	平成16年
1	安全と個人の保護	1	4.46	4.50	4/5	3/4	0/5	0/4
2	収入と消費生活	2	4.29	4.40	4/6	4/8	0/6	0/8
3	社会福祉	5	4.08	4.31	0/4	2/4	1/4	0/4
4	労働・雇用	4	4.10	4.21	2/9	2/7	1/9	0/7
5	医療と保健	3	4.15	4.16	2/6	1/6	0/6	0/6
6	生活環境(統合)	6	4.01	4.05	3/13	2/14	1/13	2/14
7	男女共同参画(新規)	*	*	4.05	*	0/3	*	1/3
8	教育・文化・国際交流(統合)	7	3.77	3.86	0/10	1/9	6/10	6/9
9	地域活動	8	3.66	3.59	0/6	0/4	3/6	3/4
10	休暇と余暇	9	3.54	3.53	0/4	0/4	3/4	3/4

(注) 項目数の表記は(該当する項目数)/(領域の項目数)

(注) 今回、生活環境、教育・文化・国際交流は、以下のとおり過去の分類を統合したものである。

領域	平成11年	平成11年	平成11年
生活環境 (①~③を統合)	4.01 (平均)	3/13	1/13
①快適	4.32	3/6	0/6
②利便	3.88	0/4	0/4
③住宅	3.83	0/3	1/3
教育・文化・国際交流 (①~②を統合)	3.77 (平均)	0/10	6/10
①教育	3.94	0/6	2/6
②教養・文化	3.59	0/4	4/4

(3) 地域別の比較

次に、表2-1-5で領域別の重要度を地域別にみると、10領域平均の重要度得点は中部、北部、南部、宮古、八重山、那覇市の順に高くなっている。中部地域では10領域中4領域が1位となっている。

表2-1-5 地域別・領域別の重要度得点

領域	北部		中部		那覇市		南部		宮古		八重山		県計 得点
	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	
医療と保健	3	4.18	2	4.19	6	4.07	3	4.18	5	4.12	1	4.24	4.16
教育・文化・国際交流	4	3.86	2	3.89	5	3.81	5	3.81	1	3.96	3	3.88	3.86
労働・雇用	1	4.29	4	4.24	6	4.11	2	4.25	2	4.25	5	4.14	4.21
生活環境	3	4.05	1	4.09	5	3.98	2	4.06	4	4.00	6	3.96	4.05
男女共同参画	2	4.06	1	4.10	6	3.96	2	4.06	4	4.01	5	3.97	4.05
安全と個人の保護	1	4.54	2	4.52	4	4.47	3	4.51	5	4.42	6	4.38	4.50
収入と消費生活	3	4.42	1	4.43	4	4.34	1	4.43	5	4.33	6	4.29	4.40
休暇と余暇	3	3.52	2	3.58	5	3.40	1	3.61	4	3.50	6	3.39	3.53
社会福祉	4	4.27	1	4.36	5	4.26	3	4.28	2	4.31	6	4.24	4.31
地域活動	1	3.72	4	3.62	6	3.44	3	3.63	2	3.71	5	3.57	3.59
計	2	4.09	1	4.10	6	3.98	3	4.08	4	4.06	5	4.01	4.07

(注) 順位は各領域の地域間の順位(高い順)である。

次に、各地域について具体的項目の順位を示したものが表2-1-6である。県平均で1位の「(43) 犯罪の防止」は中部、那覇市、南部、宮古で1位、北部で2位、八重山で3位と、いずれの地域でも3位以内にある。また、県平均で2位の「(46) 老後に不安のない年金」は北部で1位、その他の地域では2位と、いずれの地域でも重要度が高いことには変わりはない。県平均で3位以降の項目についての重要度評価は地域により差がみられる。

各地域について県平均と比較して特徴をみると、北部では県平均8位の「(6) 救急患者の適切な治療」が3位、同7位の「(16) 失業の不安の解消」が4位、同16位の「(40) 米軍基地の安全管理の確保」が7位、同42位の「(21) 職業・居住地選択の自由」が27位となっていることなどに違いがみられる。

中部は項目の順位が県平均の順位と比較的類似している中で、県平均10位の「(58) 独居老人や母子・父子家庭の安心」が7位、同18位の「(36) 自然の保全」が13位となっている。

那覇市では県平均10位の「(45) 物価の安定」が6位、同10位の「(50) 安全で安心な食品の確保」と「(58) 独居老人や母子・父子家庭の安心」が7位、同16位の「(40) 米軍基地の安全管理の確保」が13位となっている。

南部では県平均7位の「(16) 失業の不安の解消」が3位、同9位の「(47) 税負担の公平さ」が5位、同15位の「(17) 仕事のやりがい」が11位となっている。

宮古では県平均 10 位の「(58) 独居老人や母子・父子家庭の安心」が 6 位、同 18 位の「(36) 自然の保全」が 9 位、同じく同 20 位の「(4) 良質な診療・治療」が 9 位、同 26 位の「(19) 仕事と子育てが両立し易い労働条件・職場環境」が 19 位、同 31 位の「(8) 小・中学校及び高校での能力を伸ばす教育」が 21 位、同 29 位の「(31) 廃棄物の減量化・リサイクル」が 23 位となっている。

八重山では県平均の傾向とは異なり、県平均 8 位の「(6) 救急患者の適切な治療」が 1 位、同 20 位の「(4) 良質な診療・治療」が 5 位と医療関連の項目が上位となっているほか、同 25 位の「(32) 下水道の整備」が 18 位、同 30 位の「(5) 病気の予防・健康診断・健康相談」が 22 位、同 31 位の「(8) 小・中学校及び高校での能力を伸ばす教育」が 23 位となっている。



表 2-1-6 地域別・項目別重要度得点順位表

項目	県計 順位	地域別					
		北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
(43) 犯罪の防止	1	2	1	1	1	1	3
(46) 老後に不安のない年金	2	1	2	2	2	2	2
(12) 少年の非行や犯罪の防止	3	5	3	3	4	5	6
(35) 環境汚染の防止	4	10	4	5	6	2	4
(30) 水使用の安心	5	7	6	4	6	4	7
(41) 防災対策の充実	6	6	5	7	9	8	9
(16) 失業の不安の解消	7	4	11	10	3	6	8
(6) 救急患者の適切な治療	8	3	7	14	8	9	1
(47) 税負担の公平さ	9	12	10	10	5	9	10
(45) 物価の安定	10	7	11	6	12	15	15
(50) 安全で安心な食品の確保(新規)	10	14	9	7	10	13	14
(58) 独居老人や母子・父子家庭の安心	10	10	7	7	16	6	13
(42) 交通安全の確保	13	14	15	12	14	18	11
(57) 要介護者等に対する施設・支援システムの整備	13	17	14	14	12	17	11
(17) 仕事のやりがい	15	12	18	16	11	13	18
(40) 米軍基地の安全管理の確保	16	7	17	13	20	25	25
(44) 収入の着実な増加	16	14	16	17	15	21	17
(18) 職場内の安全性	18	18	19	19	17	15	20
(36) 自然の保全	18	19	13	22	24	9	16
(4) 良質な診療・治療	20	19	19	22	18	9	5
(48) 商品・サービスの安全性の確保	21	21	21	18	22	27	30
(56) 安心して子供を生み育てられる環境の整備	21	26	21	19	21	20	20
(39) 家庭内暴力の防止や被害者の救済(新規)	23	23	23	26	22	27	27
(51) 十分な貯蓄ができること	23	22	24	24	18	34	27
(32) 下水道の整備	25	24	24	21	28	26	18
(19) 仕事と子育てが両立し易い労働条件・職場環境(統合)	26	30	26	27	25	19	24
(37) 夫婦が協力して家事や育児にとりくむこと(新規)	27	27	27	24	26	24	29
(3) 費用の心配のない医療	28	24	29	28	27	30	31
(31) 廃棄物の減量化・リサイクル	29	27	28	30	29	23	25
(5) 病気の予防・健康診断・健康相談	30	33	30	32	30	32	22
(8) 小・中学校及び高校での能力を伸ばす教育(統合)	31	37	31	28	33	21	23
(49) 商品・サービスの苦情処理の充実	32	31	32	30	32	36	38
(62) 住民意見の行政への反映	33	32	33	34	31	29	33
(20) 高齢者・心身障害者の就業機会	34	34	34	33	38	40	35
(25) 良好な住環境	35	37	39	34	33	37	41
(7) 幼稚園・小・中・高校の施設の充実	36	36	38	39	41	35	40
(59) 保育所・学童保育所の充実	36	43	34	34	42	32	37
(34) 景観・町並みが美しいこと(新規)	38	39	34	41	43	31	32
(33) 公園や親しめる自然環境	39	42	34	44	35	44	36
(22) 職業紹介・訓練の充実	40	35	41	44	35	38	46
(52) 労働時間短縮による家族との交流、休暇の増大	41	48	40	40	38	45	44
(2) 精神的緊張が少ないこと	42	47	42	44	43	49	42
(21) 職業・居住地選択の自由	42	27	46	47	37	40	39
(27) 渋滞の解消	44	46	43	38	38	59	59
(1) 体力の維持・増強	45	44	44	41	49	46	33
(26) 交通機関の利便性	46	48	45	34	46	58	55
(28) 買物の利便性	47	40	47	41	45	51	57
(29) 生活情報の得やすさ	48	44	48	48	46	43	48
(23) 持ち家の取得	49	41	49	52	48	49	47
(14) 生涯学習の機会	50	51	52	49	51	40	45
(53) グラウンドや体育館の整備	51	55	49	53	50	54	53
(9) 外国語教育の充実(新規)	52	53	51	51	56	48	54
(10) 大学教育の開放	53	58	53	50	55	53	50
(38) 女性の積極的な経済界や政治活動への参加(新規)	54	52	53	53	54	56	51
(11) 各種・専修学校の充実	55	48	55	58	52	39	43
(63) 住んでいる地域・社会をよくする活動(統合)	56	53	56	55	53	47	49
(15) 伝統工芸の振興(統合)	57	57	57	57	57	55	55
(13) 文化施設の整備	58	56	58	56	58	52	52
(24) 各家族員の個室の確保	59	59	59	59	59	57	59
(61) 集会場や公民館の利用機会	60	60	60	60	60	61	58
(60) 地域行事への参加	61	61	62	61	61	59	61
(54) 趣味の会への参加の機会	62	62	61	62	61	62	62
(55) 多様な宿泊施設の整備	63	63	63	63	63	63	63

(4) 時系列比較

次に、重要度の水準が過去3回の調査と比べてどのように変化してきたかを時系列に示したのが表2-1-7である。

今回調査では、新たに6項目が追加され、4項目については前回調査の2つの項目を1つに統合、1項目については前回調査の内容を拡大しているため、厳密な比較ができないことに注意する必要がある。

全体を通覧すると、平成7年から11年の重要度得点の変動幅が-0.02~+0.69で、ほとんどの項目で重要度得点が上がったのに対し、今回調査では前回(平成11年)からの重要度得点の変動幅は-0.20~+0.56と、ややマイナスにシフトしており、重要度得点が上昇した項目と変化なしあるいは下降した項目数はほぼ半々となっている。また、今回重要度得点が上昇した項目は重要度得点の上・中位項目に多い傾向がある。

項目別にみても、前回調査に比べて上昇幅の大きい項目は、県平均21位で項目内容を拡大した「(56)安心して子供を産み育てられる環境の整備」(+0.56)、同26位で項目の統合のあった「(19)仕事と子育てが両立し易い労働条件・職場環境」(+0.42)、同3位の「(12)少年の非行や犯罪の防止」(+0.31)などである。

また、表2-1-8に示すように、これら項目ごとの重要度の変化を領域別にみると、「安全と個人の保護」は昭和59年調査以来1位を維持、「収入と消費生活」も平成7年以来2位を維持しており、時勢に左右されない重要な生活条件であることがわかる。また、「社会福祉」は平成7年以来順位が上昇している。一方、「医療と保健」は減少傾向にある。



表2-1-7 重要度の時系列比較

領域	項目	平成2年	平成7年	平成11年	平成16年	7年-2年	11年-7年	16年-11年
医療と保健	(1) 体力の維持・増強	*	3.90	3.92	3.87	*	0.02	-0.05
	(2) 精神的緊張が少ないこと	*	*	3.84	3.90	*	*	0.06
	(3) 費用の心配のない医療	4.40	4.14	4.22	4.16	-0.26	0.08	-0.06
	(4) 良質な診療・治療	4.55	4.34	4.38	4.34	-0.21	0.04	-0.04
	(5) 病気の予防・健康診断・健康相談	4.23	4.06	4.11	4.11	-0.17	0.05	0.00
	(6) 救急患者の適切な治療	4.60	4.40	4.46	4.47	-0.20	0.06	0.01
教育・国際協力・文化	(7) 幼稚園・小・中・高校の施設の充実	3.85	3.61	3.92	3.99	-0.24	0.31	0.07
	(8) 小・中学校及び高校での能力を伸ばす教育(統合)	*	3.81	3.98	4.10	*	0.17	0.12
	(9) 外国語教育の充実(新規)	*	*	*	3.68	*	*	*
	(10) 大学教育の開放	3.72	3.62	3.79	3.67	-0.10	0.17	-0.12
	(11) 各種・専修学校の充実	3.59	3.54	3.71	3.64	-0.05	0.17	-0.07
	(12) 少年の非行や犯罪の防止	4.44	4.18	4.26	4.57	-0.26	0.08	0.31
	(13) 文化施設の整備	3.76	3.60	3.69	3.54	-0.16	0.09	-0.15
	(14) 生涯学習の機会	3.86	3.65	3.80	3.74	-0.21	0.15	-0.06
	(15) 伝統工芸の振興(統合)	3.58	3.23	3.44	3.56	-0.35	0.21	0.12
	労働・雇用	(16) 失業の不安の解消	4.41	4.26	4.46	4.48	-0.15	0.20
(17) 仕事のやりがい		4.32	4.17	4.36	4.38	-0.15	0.19	0.02
(18) 職場内の安全性		4.24	4.10	4.24	4.35	-0.14	0.14	0.11
(19) 仕事と子育てが両立し易い労働条件・職場環境(統合)		3.93	3.53	3.79	4.21	-0.40	0.26	0.42
(20) 高齢者・心身障害者の就業機会		3.94	3.72	3.90	4.01	-0.22	0.18	0.11
(21) 職業・居住地選択の自由		3.96	3.77	3.95	3.90	-0.19	0.18	-0.05
(22) 職業紹介・訓練の充実		3.94	3.78	4.03	3.95	-0.16	0.25	-0.08
生活環境		(23) 持ち家の取得	4.28	3.94	3.98	3.78	-0.34	0.04
	(24) 各家族員の個室の確保	3.74	3.56	3.54	3.42	-0.18	-0.02	-0.12
	(25) 良好な住環境	4.16	3.88	3.97	4.00	-0.28	0.09	0.03
	(26) 交通機関の利便性	4.07	3.81	3.89	3.85	-0.26	0.08	-0.04
	(27) 渋滞の解消	*	3.80	3.89	3.89	*	0.09	0.00
	(28) 買物の利便性	3.88	3.75	3.89	3.84	-0.13	0.14	-0.05
	(29) 生活情報の得やすさ	3.86	3.72	3.86	3.82	-0.14	0.14	-0.04
	(30) 水使用の安心	4.56	4.39	4.47	4.51	-0.17	0.08	0.04
	(31) 廃棄物の減量化・リサイクル	*	*	4.22	4.15	*	*	-0.07
	(32) 下水道の整備	4.45	4.34	4.45	4.25	-0.11	0.11	-0.20
	(33) 公園や親しめる自然環境	4.04	3.90	4.07	3.97	-0.14	0.17	-0.10
	(34) 景観・町並みが美しいこと(新規)	*	*	*	3.98	*	*	*
	(35) 環境汚染の防止	4.39	4.20	4.37	4.52	-0.19	0.17	0.15
	(36) 自然の保全	*	*	4.35	4.35	*	*	0.00
男女共同参画	(37) 夫婦が協力して家事や育児にとりくむこと(新規)	*	*	*	4.19	*	*	*
	(38) 女性の積極的な経済界や政治活動への参加(新規)	*	*	*	3.65	*	*	*
	(39) 家庭内暴力の防止や被害者の救済(新規)	*	*	*	4.26	*	*	*
安全と個人の保護	(40) 米軍基地の安全管理の確保	4.35	4.07	4.31	4.37	-0.28	0.24	0.06
	(41) 防災対策の充実	4.45	4.36	4.49	4.49	-0.09	0.13	0.00
	(42) 交通安全の確保	4.52	4.31	4.44	4.41	-0.21	0.13	-0.03
	(43) 犯罪の防止	4.60	4.47	4.61	4.68	-0.13	0.14	0.07
収入と消費生活	(44) 収入の着実な増加	4.35	4.26	4.37	4.37	-0.09	0.11	0.00
	(45) 物価の安定	4.49	4.37	4.37	4.45	-0.12	0.00	0.08
	(46) 老後に不安のない年金	4.51	4.44	4.51	4.63	-0.07	0.07	0.12
	(47) 税負担の公平さ	4.38	4.30	4.37	4.46	-0.08	0.07	0.09
	(48) 商品・サービスの安全性の確保	*	4.01	4.26	4.31	*	0.25	0.05
	(49) 商品・サービスの苦情処理の充実	3.92	3.76	4.04	4.09	-0.16	0.28	0.05
	(50) 安全で安心な食品の確保(新規)	*	*	*	4.45	*	*	*
(51) 十分な貯蓄ができること	*	*	4.16	4.26	*	*	0.10	
休暇と余暇	(52) 労働時間短縮による家族との交流・休暇の増大	3.55	3.82	4.01	3.93	0.27	0.19	-0.08
	(53) グラウンドや体育館の整備	3.56	3.52	3.64	3.72	-0.04	0.12	0.08
	(54) 趣味の会への参加の機会	3.41	3.21	3.34	3.29	-0.20	0.13	-0.05
	(55) 多様な宿泊施設の整備	3.11	3.07	3.18	3.11	-0.04	0.11	-0.07
社会福祉	(56) 安心して子供を産み育てられる環境の整備 ※	3.99	3.53	3.75	4.31	-0.46	0.22	0.56
	(57) 要介護者等に対する施設・支援システムの整備	4.41	4.11	4.28	4.41	-0.30	0.17	0.13
	(58) 独居老人や母子・父子家庭の安心	3.69	4.13	4.32	4.45	-0.44	0.19	0.13
	(59) 保育所・学童保育所の充実	3.69	3.58	3.98	3.99	-0.11	0.40	0.01
地域活動	(60) 地域行事への参加	3.28	2.96	3.17	3.30	-0.32	0.21	0.13
	(61) 集会場や公民館の利用機会	3.48	3.22	3.36	3.34	-0.26	0.14	-0.02
	(62) 住民意見の行政への反映	4.09	3.82	4.03	4.05	-0.27	0.21	-0.02
	(63) 住んでいる地域・社会をよくする活動(統合)	3.88	3.66	3.80	3.62	-0.22	0.14	-0.18

(注1) ※印(56)は表現の変更があった項目

(注2) (統合)とは2つの項目を1つの項目にまとめたものであるが、過去の数値の表記は以下のとおりとした。

項目	平成2年	平成7年	平成11年	平成16年
(8) 小・中学校及び高校での能力を伸ばす教育 (①と②を統合)	*	3.81 (平均)	3.98 (平均)	4.10
①小・中学校での能力を伸ばす教育	*	3.85	4.01	
②高校での能力を伸ばす教育	*	3.76	3.94	
(15) 伝統工芸の振興 (①と②を統合)	3.58	3.23	3.44 (平均)	3.56
①伝統工芸の振興	3.58	3.23	3.40	
②伝統文化の振興	*	*	3.48	
(19) 仕事と子育てが両立し易い労働条件・職場環境 (①と②を統合)	3.93	3.53 (平均)	3.79 (平均)	4.21
①職場内での男女の平等	3.93	3.86	4.07	
②女性の職場進出	*	3.20	3.51	
(63) 住んでいる地域・社会をよくする活動 (①～③を統合)	3.88 (平均)	3.66 (平均)	3.80 (平均)	3.62
①自治会等の充実	3.52	3.22	3.34	
②ボランティア	4.06	3.85	4.00	
③相互扶助	4.05	3.92	4.06	

表2-1-8 領域別重要度得点の時系列比較

今回順位	領域	平成2年		平成7年		平成11年		平成16年	
		順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点
1	安全と個人の保護	1	4.52	1	4.29	1	4.46	1	4.50
2	収入と消費生活	3	4.43	2	4.19	2	4.29	2	4.40
3	社会福祉	4	4.25	6	3.79	5	4.08	3	4.31
4	労働・雇用	6	4.02	5	3.86	4	4.10	4	4.21
5	医療と保健	2	4.45	3	4.17	3	4.15	5	4.16
6	生活環境(統合)	5	4.06	4	3.92	6	4.01	6	4.05
7	男女共同参画(新規)	*	*	*	*	*	*	7	4.05
8	教育・文化・国際交流(統合)	7	3.79	7	3.62	7	3.77	8	3.86
9	地域活動	8	3.75	8	3.50	8	3.66	9	3.59
10	休暇と余暇	9	3.43	9	3.49	9	3.54	10	3.53
	県計		4.08		3.87		4.01		4.07

(注) 今回、生活環境、教育・文化・国際交流は、以下のとおり過去の分類を統合したものである。

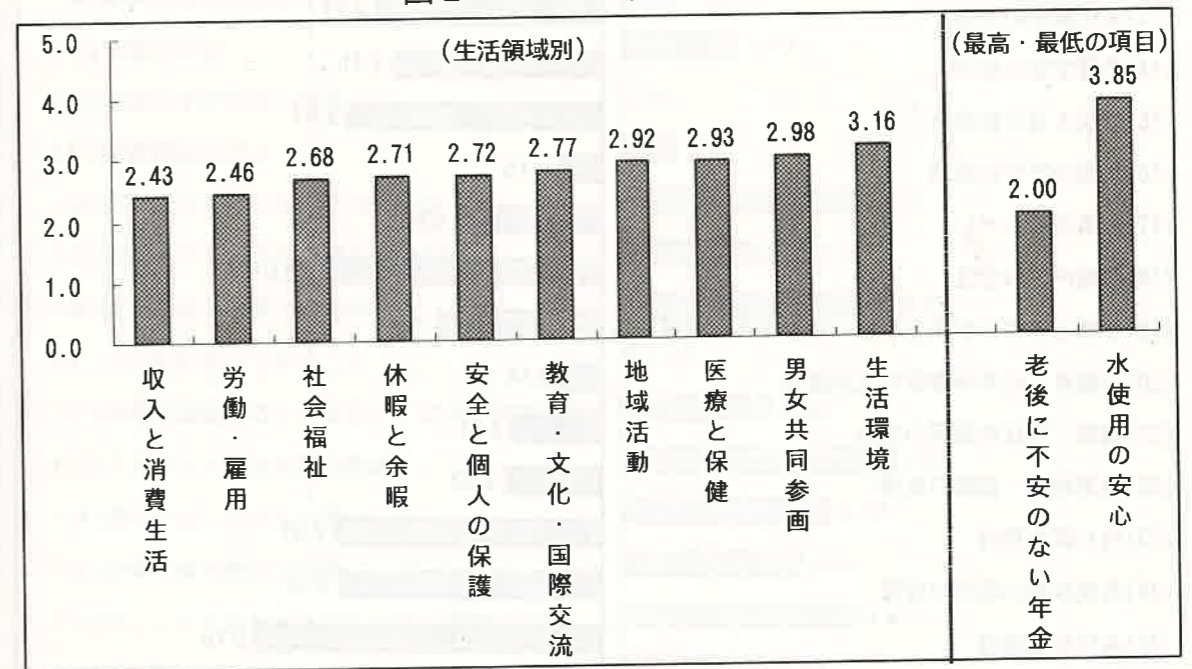
領域	平成2年	平成7年	平成11年
生活環境 (①～③を統合)	4.06 (平均)	3.92 (平均)	4.01 (平均)
①快適	4.26	4.21	4.32
②利便	3.94	3.77	3.88
③住宅	3.97	3.79	3.83
教育・文化・国際交流 (①～②を統合)	3.79 (平均)	3.62 (平均)	3.77 (平均)
①教育	3.78	3.74	3.94
②教養・文化	3.79	3.49	3.59

2 生活の各側面に対する充足度(問2)

県民生活に関わる個別具体的な63項目について、重要度と同様に、県民の暮らしの中でどの程度充足されているかを「非常に満たされている」「かなり満たされている」「どちらともいえない」「あまり満たされていない」「ほとんど満たされていない」「わからない」の6分類で回答してもらった。集計についても重要度と同様、5段階評価方式により、「非常に満たされている」=5点、「かなり満たされている」=4点、「どちらともいえない」=3点、「あまり満たされていない」=2点、「ほとんど満たされていない」=1点、の得点(ウェイト)を与えて、各項目ごとの平均点を求め、充足度に関する県民の評価の指標(充足度得点)とした。さらに、これらの項目を10の領域に分類し、各領域別の平均得点もあわせて算出した。

領域別にみた充足度の得点は、図2-2-1に示すように、得点の最も低い領域は「収入と消費生活」、最も高い領域は「生活環境」である。また、具体的な項目の中で得点の最も低い項目は「収入と消費生活」領域の「(46) 老後に不安のない年金」(2.00)で、最も高い項目は「生活環境」領域の「(30) 水使用の安心」(3.85)である。

図2-2-1 充足度得点



具体的に項目別の得点をみると、図2-2-2、表2-2-1に示すように、得点の最も低い項目は「(46) 老後に不安のない年金」(2.00)で、以下、「(51) 十分な貯蓄ができること」(2.06)、「(20) 高齢者・心身障害者の就業機会」(2.14)、「(16) 失業の不安の解消」(2.15)、「(40) 米軍基地の安全管理の確保」(2.17)、「(44) 収入の着実な増加」(2.18)、「(47) 税負担の公平さ」(2.19)と続いている。

一方、得点の最も高い項目は「(30) 水使用の安心」(3.85)で、以下、「(28) 買物の利便性」(3.53)、「(32) 下水道の整備」(3.45)、「(7) 幼稚園・小・中・高校の施設の充実」(3.36)、「(60) 地域行事への参加」(3.20)、「(31) 廃棄物の減量化・リサイクル」(3.19)、「(6) 救急患者の適切な治療」(3.18)、「(25) 良好な住環境」(3.18)と続いている。